

# 生活科学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 小西 聡子

- 1 日時 令和4年10月27日(木) 第5校時(13:25～14:10)
- 2 学年・組 第1学年1組(34名)
- 3 単元名 いきものとなかよし

## 4 単元の目標

継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について考え、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につけ、生き物に親しみをもち、大切にすることができるようにする。

## 5 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	内容の まとまりごとの	生き物は生命をもっていることや成長していること、生き物と自分とのかかわりに気付いている。 【内容(7)】	動物を飼ったり植物を育てたりすることについて、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それをすなおに表現している。 【内容(7)】	動植物やそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、生き物に親しんだり、大切にしたりしようとしている。 【内容(7)】
	単元の 評価規準	継続的に生き物を飼育する活動を通して生き物に合った世話の仕方があること、生き物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	生き物を飼育する活動を通して、生き物への親しみをもち、生き物を大切にしようとしている。
小単元ごとの 評価規準	ホップ		①身近な生き物や学校にいる生き物について、知っていることを表現したり、伝え合ったりしている。	①身近な生き物や学校にいる生き物について、自ら進んで関心をもち、関わろうとしている。
	ステップ1	①生き物には、さまざまな生態があることに気付いている。	②生き物のお世話の仕方について、自分の経験をもとに考えている。	
	ステップ2	②生き物の生態や変化について、継続的に観察し、状況に応じて工夫して世話をしている。	③生き物の生態や変化の様子を継続的に観察し、これまでの様子とも比べながら、仲良くするためにどのようなことをすればよいか考えている。	
	ジャンプ	③生き物には生命があり、生態や様子に合った世話のしかたがあることに気付くとともに、継続的に世話をすることの大切さに気付いている。	④これまでの活動について振り返り、したことや、もっとやってみようことなどを表現したり、伝え合ったりしている。	②生き物の世話をすることや生き物のいる生活について、自ら進んで関心をもち、これからも親しみをもち、生き物と関わっていこうとしている。

## 6 単元について

### 【学習対象や学習材について】

昨今、動物を飼育する家庭が昔に比べて減ってきていると感じる。動物を飼育した経験の無い児童が増え、動物と関わることを不安に思う児童や世話をすることに消極的になる児童がクラスの中に必ずいると予想される。そのような児童には、毎日観察をすることからはじめ、徐々に愛着が持てるようにしていきたい。自分の飼育している動物の変化や成長の様子を目の当たりにすることで、飼育している動物の生命を愛おしいと感じられるようになっていくと考える。

また、飼育している中で困ったことがあったら、友達や身近な人、時には動物園の獣医さんに相談し、解決する方法を考え、やってみるということの繰り返しを体験したい。そういった過程で児童は小さな変化にも心を傾け、その変化の理由を考えるようになるだろう。それらを友達の気付きと比べたり関連付けたりして考えることで、動物の特性やそれに応じた世話の仕方があることに気付いていく。そのためには、保護者の理解のもと、できるだけ自分たちだけでお世話ができるように環境を整え、継続して世話をしていきたい。そうして、生命を任されている責任感も持てるようにしていきたい。単元の終わりには、お世話ができたようになったという自信をもつとともに、生命への関わり方の変容にも期待したい。

### 【深い学びに向けて】

#### ○思いや願いが膨らむ学習を創る

学級では、5月にアサガオを育てる学習をした際、導入で校長先生からアサガオの種をもらった。そこには、名前をつけて大切に育ててほしいという内容の手紙が入っていた。児童は種に思い思いの名前を付け、早く育てて欲しいと願った。本単元の導入でも、まずは動物との出会いを工夫したい。飼育委員から「1年生で大切に育てて欲しい」と生命を託されることで、任された責任感や自己有用感を高められるような出会いをしたいと考えている。また、動物を飼育する上で「なかよくなるためにはどのような世話をすればよいか」を児童たちが考え、解決していけるような環境を整えたい。「どのような場所で生活しているのか」「どんなものを食べるのか」「どうやって触れればよいのか」といった疑問をもった際に、①友達と相談する②担任に質問する③飼育委員のおねえさん・おにいさんに相談する④図鑑（インターネット）などで調べるといった方法が児童から出てくると考えられる。それに加え、児童たちの「困った」を解決する方法として、動物園の獣医師に聞いてみるといった活動も取り入れたいと考えている。飼育している動物の様子をじっくりと観察させ「自分がどんな世話をしてあげたいのか」といった自分自身から出る成長への願いや期待を大切にして、世話の仕方を考えたり調べたりし、やってみることを繰り返しながら、成長や変化と自分達が行った世話との関係に気付いたり、自分自身の世話の仕方や世話をするときの気持ちの変化に気付いたりできるように、学習の足跡を残していきたい。

#### ○学びを実生活につなぐ

本校の児童は、自分達で生き物を育てた経験が少ないのではないかと感じている。初めは目の前にいる動物に対して、どのように接すればよいのか戸惑う児童も少なくないだろう。また、触ってみたい、お世話してみたいという思いから、初めは自分本位な関わり方をする児童が多いと考えられる。しかし、継続的な世話や観察を続けることで、次第に動物と自分の関わり方には双方向性があることに気付いていくだろう。そのような深い関わりの中で、動物も自分達と同じように性格や嗜好があることや、命をもっていることに気付き、同じ生命をもつものとして大切にしていけるようにしたい。そして、動物の継続的な世話を続けることで得られる動物飼育の楽しさを感じることで、単元の終わりには、毎日飼育を続けることができた自分自身の成長にも気付き、自己有用感が高まることを期待している。

学びの過程	学習の流れ
<p>いきものこころ</p> <p>おもい・願い</p> <p>体験</p> <p>表現</p>	<p>キングョを飼っているよ    ウサギをだっこしたことがあるよ    学校でザリガニを見たよ</p> <p><b>ホップ</b>    <b>どんな いきものと なかよく なりたいかな (1H)</b></p> <p>いろいろ 知りたいね</p> <p>みんなで探しに行こう    飼育小屋で、ウサギを見たよ</p> <p>2年生は、教室でキングョを飼っているよ</p> <p>見つけたことを友達に話そう    理科室には、小さなメダカがいたよ</p> <p>もう少し よく知りたいな</p>
<p>いきものこころ</p> <p>おもい・願い</p> <p>体験</p> <p>表現</p>	<p><b>ステップ</b>    <b>はじめまして こんにちは (2H)</b></p> <p>そうっと 見てみよう    そうっと ふれてみよう    あっ、こっちを見たよ    耳が動いているよ</p> <p>えさを やってみよう    飼育委員から まかされたよ    種を食べているよ    ふわふわだ</p> <p>見つけたことを友達に話そう    あっ、うんちをしたよ    わあ、あったかいよ</p> <p>ウサギのこと もっと 知りたいな 仲良くしたいな</p>
<p>いきものこころ</p> <p>おもい・願い</p> <p>体験</p> <p>表現</p> <p>体験</p> <p>表現</p> <p>交流</p>	<p><b>ステップ</b>    <b>もっと なかよしに なりたいな (5H)</b></p> <p>せわを しよう    よく見て みよう    調べて みよう    近づいたらくれちゃったよ</p> <p>わかったことや不思議に思ったことを 友達に紹介しよう    心臓の音は 私のよりずっとはやいよ</p> <p>世話をして もっといろいろ知りたいな    どんな おうちが すみやすいかな</p> <p>世話や観察は毎日続けることが大切だね</p> <p>うれしいと 思うことが わかってきたよ</p>
<p>いきものこころ</p> <p>おもい・願い</p> <p>体験</p> <p>表現</p> <p>交流</p>	<p>健康観察を 毎日する    欠かさず 世話を する    ちょっと元気がないときもあるよ 大丈夫かな</p> <p>心配な時は 獣医さんに相談するといいね</p> <p>眠そうだね 今はそうっとしておこう</p> <p>足のゆびの数が 前足と後ろ足でちがうんだ</p> <p>いっぱい わかったよ</p> <p>なかよくなったことやわかったことをカードにかこう    生き物のことをよく知ることが大切だね</p> <p>なかよしになったことを友達に紹介しよう    だっこがとくいに なったよ</p> <p>良く見て 絵をかいたよ</p> <p>△△ちゃんのひみつを クイズにしたよ</p> <p>こんなに なかよしに なったよ</p>
<p>いきものこころ</p> <p>おもい・願い</p> <p>表現</p> <p>交流</p>	<p><b>ジャンプ</b>    <b>ずっと だいすき (1H)</b></p> <p>どんなことをしたか振り返ろう    しょうずに 世話ができるようになったよ</p> <p>もっとやってみたいことを みんなで話そう    きれいすきの生き物だから そうじを忘れないよ</p> <p>これからも せわを 続けたいな</p> <p>生き物は大切な友達だよ これからも世話を するね</p>

	時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価
ホップ	1	○身近な生き物の様子について話し合う。 ◆学校にはどんな生き物がいるか話し合しましょう。  学校探検のときに、飼育小屋で、ウサギを見たよ。ウサギはニンジンを食べていたよ。2年生は教室でキンギョを飼っているよ。理科室には、小さなメダカがいたよ。	！事前に保護者にアンケートを実施し生き物とのかかわりやアレルギーの有無を把握しておく。 ☞生き物と触れ合いたいという気持ちをもたせ、次時につなげる。	態
ステップ1	2 ・ 3	○校内で飼育している生き物の様子を見に行き、生き物と関わり、発見したことや思ったことを交流する。 ◆学校には生き物がたくさんいましたね。生き物の様子を見に行きましょう。 ◆生き物を見たり触ったりして見付けたことや分かったことは何ですか。 ◆生き物と仲良くなるためにはどんなことをしたらいいかな。 こっちを見たよ。耳が動いているよ。キャベツを食べているよ。あつ、うちをしたらよ。ふわふわだ。わあ、あつたかいよ。  ○飼育委員から、ウサギのお世話を任せられる。  近づいたら隠れちゃったよ。ウサギは何を食べるのだろう。毛がふわふわだったよ。眠そうだね。今はそうとしておこう。もつとえさをやったり、お世話をしたら仲良くなれるんじゃないかな。どんな食べ物が好きなのか、どうするのか調べたいな。	☞絵日記など生き物と触れ合った経験が書かれているものを提示することで、活動の意欲を高められるようにする。 ！アレルギーのある子には主治医や保護者に相談して、ゴーグルやマスク、軍手等を付けたり、見るだけにしたりする。 ！生き物を抱くときは、落としたりひっつかれたりしないように、バスタオルなどを膝に掛ける等の配慮し、座って抱くなど抱き方を事前に教えておく。 ☞見つけた生き物の様子や関わって気付いたことが書けるようにカードを用意する。 ㊤国語科「しらせたいな みせたいな」	知思
ステップ2	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 本時	○生き物と触れ合いながら、世話のしかたや関わり方について考えたり、詳しい人に教えてもらったりする。 【常時活動（配当外）】 継続的に生き物の世話をする。  分からないことがたくさんあったから獣医さんに教えてもらったよ。ウサギの心臓の音がとっても速かったよ。わたしたちと同じ命だから大事にしないといけないんだね。  ウサギのお家はというふうに掃除したらいいのかな。ウサギは何を食べるのかな。獣医さんに聞いてみよう。  糞の掃除もはじめは苦手だったけどうまくなって、だんだんお世話も早くできるようになったよ。ウサギも喜んでくれてるみたいだ。えさもちゃんと食べてくれてうれしいな。  ○生き物と仲よくなったことや分かったこと、思ったことを伝えるために、自分の選んだ(クイズ・絵・実演・写真など)を書いたり準備したりする。 ◆お気に入りの生き物と仲良くなったことをみんなに伝える準備をしましょう。  抱いたり触ったりできるようになったよ。ぼくは、ウサギが苦手だったけれど、抱っこができるようになったよ。世話や観察は、毎日続けることが大切だね。生き物のことをよく知ることが大切だね。心配な時は、獣医さんに相談するといいいね。	！怖がる子どもには、無理強いせず、近くで見ることや触れるだけでもよいことを伝えておく。 ！生き物と触れ合う前後には、必ず手洗いをする習慣をつける。 ☞継続して生き物に触れ合えるように、生き物を教室に連れてくるなど環境を整備する。 ☞分かったことや思ったことをいつでも表現できるようにカードや掲示板を用意する。分からないことを調べられるよう図鑑なども準備しておく。 ☞分かったことや思ったことを全員で共有する時間を定期的にとり、世話をしている疑問に思ったことや、自分の大好きな生き物のことを十分話せる時間をとる。 ☞子どもの活動の様子をその都度写真にとって残しておき、振り返りなどの場面で活用する。	知思
ジャンプ	9	○育ててきたことを振り返り、できるようになったこと、変わったことを伝え合う。 ◆今までの学習でどんなことが分かってどう思いましたか。また、以前と比べて変わったことは何ですか。  上手に世話ができるようになったよ。何だかお母さんになったみたい。○○ちゃんの方も私たちに慣れてきたのだね。私たちが優しいからかな。生き物のことをよく知り世話をすることが大切だ。掲示板などを使って仲良しの紹介をしたいね。	☞飼育や観察の喜びや大切さについて繰り返し言葉かけをすることで、学習後も生き物への興味・関心が継続できるようにする。 ☞これからもよりよく生き物に接していこうという気持ちを大切に、継続して活動できるように環境を整えておく。	知態

重点評価場面

- ・知 生き物と関わる中でどのようなことに気付いたかが分かる成果物や発言の様子【4～8時間目】
- ・思 生き物の様子や世話の仕方など生き物について考えたことを表現した発言やカード等【4～8時間目】
- ・態 今までの学習を振り返り、学びを生かして生き物とよりよく関わっていこうとしていることがわかるカード

【9時間目】

8 本時について（8／9時間目）

(1) 目標 これまで生き物を世話してきた体験や経験をもとに、仲良くなったことを友達と伝え合う。

【思④】これまでの活動について振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを表現したり、伝え合ったりしている。

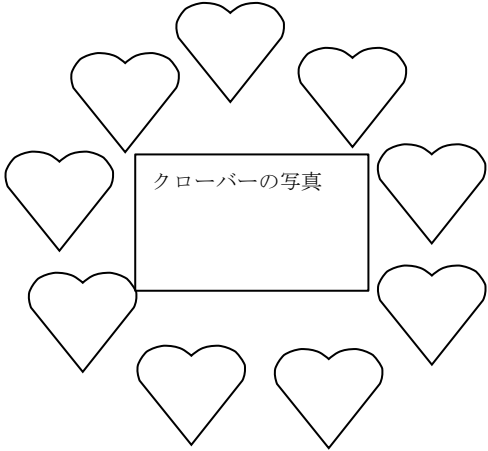
(2) 展開

○学習活動 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">クローバーと仲良くなったことを伝えあおう</div> <p>○活動の流れや仕方を確かめる。</p> <p>○自分の選んだ伝え方のカード・絵・写真や動画をもとに、1対1で伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めはこわかったけれど、抱っこができるようになったよ。</li> <li>・クローバーは、にんじんが大好きです。</li> <li>・クローバーのために、お家を作ったよ。</li> </ul> <p>○友達との交流で思ったことや気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クローバーのひみつがわかったよ。</li> <li>・たくさん仲良くなれて、うれしかったよ。</li> <li>・みんなお世話名人になれたね。</li> </ul> <p>○ふりかえりをする</p>	<p>*活動のタイムテーブルと、聞く時、話す時の視点を全体で確認する。</p> <p>*前時までに書き溜めた付箋の中から友達に伝えたいことと伝える方法を選んでおく。(カード・絵・タブレットで撮った写真や動画)</p> <p>㊦文を書くことが難しい児童には、自分ができそうな方法を選んで良いことを伝え、一緒に選ぶようにする。</p> <p>*ウサギと仲良くなったことをふりかえることで、これからもクローバーを大切にしていきたいという思いをもつことができるようにする。</p>

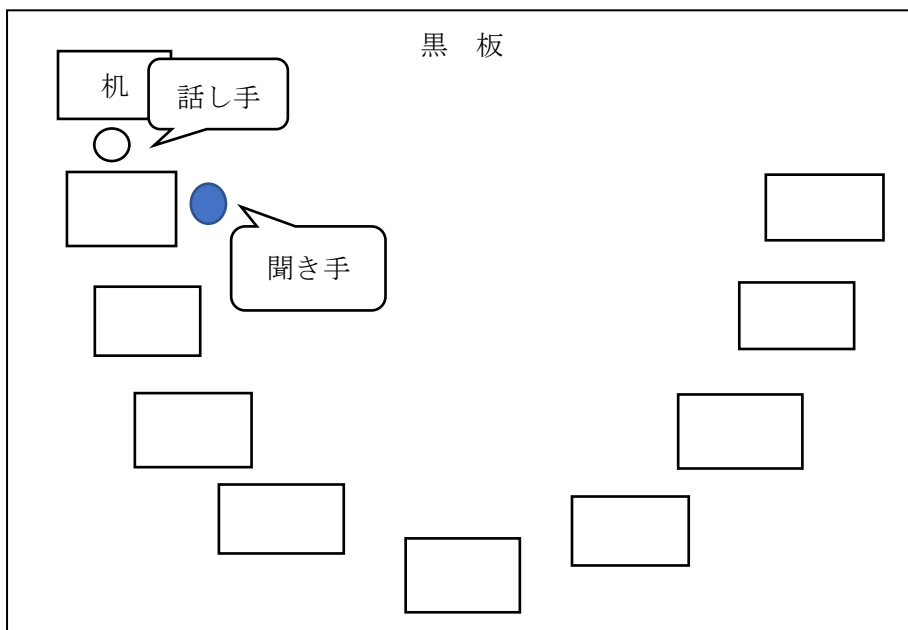
(3) 評価

<b>【思④】</b>	これまでの活動について振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを表現したり、伝え合ったりしている。
<b>「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・交流の様子」</b>	
ぼくは、クローバーに触れるようになりました。クローバーはにんじんが大好きで、食べている姿がかわいいです。とてもこわがりなので、大きな音をたてないようにするといいです。 これからも元気に育ってほしいので、お世話をがんばろうと思います。	

(4) 板書計画

いきものと なかよし	
クローバーとなかよくなったことをつたえあおう	
活動の写真	写真
はじめまして こんにちは	まいにち おそうじ
活動の写真	写真
心臓の音を聞いてみたよ	こまった！
	
	もっと なかよく なれたね

(5) 場の工夫



時間になったら話し手と聞き手が交代する。  
聞き終わったら、空いているところに移動する。